

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33・34	今後、認知症、ADL低下の両面での重度化が進行する利用者さんに対するケア。重度化にともなう入院、怪我を防ぐ取組みと共に支える家族との係わり。スタッフのスキルアップ。	できるだけグループホームでの生活を継続できるように家族と共に利用者を支える。リーダーが緊急時に対応できる体制をつくる。	介助・歩行時の見守り、声かけの徹底。定期的な検査での経過観察と予防措置で健康管理を行う。家族との情報共有の為に定期連絡と今後予想される事等を家族と相談する機会をつくる。スタッフの研修。特に利用者の既往症や緊急時の対応についての研修。	12ヶ月
2	4	地域には徐々に受け入れられるようになってきた事業所ではあるが、事業所の理念にある「地域に根ざしたグループホーム」をより一層目指すための取組み。地域との災害対策。	地域での介護・認知症に関する相談窓口になれる事業所を目指す。開かれた事業所のため、運営推進委員会の開催に少しでも多くの地域住民の方に参加していただけるよう働きかける。	運営推進委員会を通じ、事業所の活動内容を知ってもらい、地域住民の協力を呼びかける。専門性の高いスタッフの育成のための研修。スタッフの介護力や認知症に関する知識にたいする研修を実施。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。